

令和3年度
障害児施設における
ソーシャルスキルトレーニング実態調査

令和4年3月
東京都 福祉保健局

目次

I.	調査概要	3
1.	調査の目的	3
2.	調査対象および方法、回収状況	3
3.	報告書の見方	3
II.	調査結果 ～障害児福祉施設調査～	7
1.	事業所の概要	7
①	実施している障害児福祉サービス	7
②	対象者	8
③	事業開始年度	9
④	経営主体	10
⑤	利用定員	11
⑥	利用者の年齢	12
2.	障害児支援の内容	13
①	提供している療育プログラム	13
②	療育プログラムの検討体制	14
③	療育プログラムの効果測定	15
④	応用行動分析の実施状況	16
⑤	療育方針の有無	17
⑥	療育方針の周知方法	18
⑦	不適応行動への対応方針の有無	19
⑧	不適応行動への対応方針の内容	20
⑨	不適応行動への対応方針の周知	21
3.	ソーシャルスキルトレーニングの認知・実施状況	22
①	SST の認知状況	22
②	SST の把握状況	23
③	SST に関する情報の入手先	24
④	SST の実施状況	25
⑤	SST の実施内容	26
⑥	SST の実施方法	27
⑦	SST を実施している職種	28
⑧	SST の参考にしている情報	29
⑨	SST の実施効果	30
⑩	SST の実施にあたっての課題	31
⑪	SST の今後の活用方針	32
⑫	実施したい SST のテーマ	33
⑬	SST を活用したい理由	34
⑭	SST を活用したくない理由	35
⑮	SST の導入に必要なサポート・施策	36
⑯	自由意見	37

Ⅲ. <u>調査結果 ～ヒアリング調査～</u>	43
1. <u>ソーシャルスキルについて</u>	43
① <u>ソーシャルスキルの考え方</u>	43
② <u>ソーシャルスキルを育む目的</u>	43
③ <u>家庭・地域でソーシャルスキルを育む上での課題</u>	44
2. <u>ソーシャルスキルトレーニングについて</u>	45
① <u>実践しているトレーニングの内容</u>	45
② <u>トレーニングの実施において重視すること</u>	45
③ <u>専門性の担保について</u>	47
④ <u>保護者への支援について</u>	47
3. <u>障害児福祉施設でのソーシャルスキルトレーニングについて</u>	48
① <u>期待していること</u>	48
② <u>課題を感じていること</u>	49
③ <u>障害児福祉施設でSSTを普及させるために必要なこと</u>	50
4. <u>学校などの関係機関との連携について</u>	51
① <u>学校との連携</u>	51
② <u>その他の関係機関との連携</u>	52
Ⅳ. <u>資料編</u>	55
1. <u>障害児福祉施設調査票</u>	55

I 調查概要

I. 調査概要

1. 調査の目的

障害児福祉施設におけるソーシャルスキルトレーニングを活用した支援の現状、ニーズ等を把握し、施策の検討に資する基礎資料を作成するために実施した。

2. 調査対象および方法、回収状況

① 障害児福祉施設調査

対象地域：東京都が指定している障害児福祉施設

対象施設：児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、
福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設

調査期間：令和3年10月8日（金）～令和3年10月31日（日）

調査方法：郵送配布、郵送回収

発送数	回収数	回収率
1,068 件	775 件	72.6%

② ヒアリング調査

調査対象：①の障害児福祉施設長さに回答いただいた施設のうち、SST を実施しておりヒアリング対応が可能だった事業所。および、医療機関、有識者、当事者・保護者団体、福祉・教育機関を対象として実施した。

区分	対象数	ヒアリング実施日
調査回答事業所	7 件	2022 年 1 月 5 日～2022 年 1 月 21 日
医療機関	2 件	2021 年 12 月 13 日～2022 年 1 月 12 日
有識者	3 件	2021 年 12 月 15 日～2021 年 12 月 23 日
当事者・保護者団体	3 件	2021 年 12 月 21 日～2021 年 12 月 22 日
福祉・教育機関	3 件	2021 年 12 月 11 日～2021 年 12 月 23 日

3. 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が 100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が 0 の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化してある場合があります。
- ・図表のタイトル及び回答の選択肢等は、簡略化して表現している場合があります。正しいタイトル等は巻末の調査票を参照してください。
- ・Ⅱ章以降では、以下の調査結果（図表、文章）において略称を用いています。

Ⅱ 調査結果

～障害児福祉施設調査～

II. 調査結果 ～障害児福祉施設調査～

1. 事業所の概要

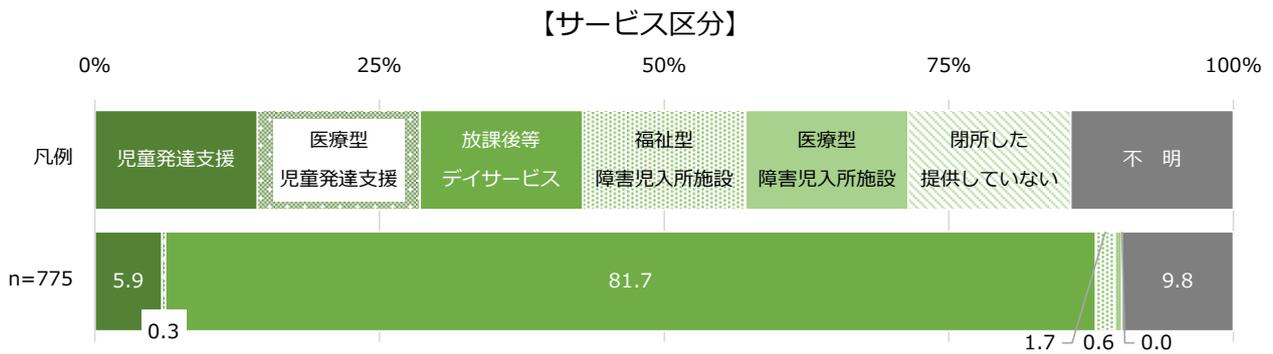
① 実施している障害児福祉サービス

問1 貴事業所で提供している障害児福祉サービスをお答えください。

(○は1つだけ)

<全体>

「放課後等デイサービス」が81.3%と最も高く、「児童発達支援」が5.9%となっている。



② 対象者

問2 貴事業所の対象者をお答えください。

【〇はいくつでも】

<全体>

「知的障害児」が85.8%と最も高く、次いで「精神障害児(発達障害)」が82.6%となっている。

<事業区分別>

放課後等デイサービスは児童発達支援に比べて「精神障害児(発達障害)」を対象としている割合が低くなっている。

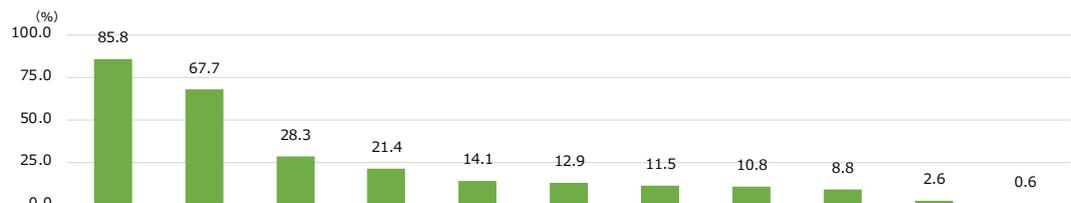
<SSTの実施状況別>

SSTを実施している事業所は、「精神障害児(発達障害)(精神障害)」を対象としている割合が高く、一方で「重症心身障害児」や「医療的ケア児」を対象としている割合が低い傾向がある。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向がある事業所は「精神障害児(発達障害)(精神障害)」を対象としている割合が高く、活用意向がない事業所は「重症心身障害児」や「医療的ケア児」を対象としている割合が高くなっている。

【対象としている障害区分】



		調査数	知的障害児	(精神障害児(発達障害))	(身体障害児(肢体不自由))	(精神障害児(精神障害))	重症心身障害児	(精神障害児(高次脳機能障害))	(身体障害児(聴覚))	(身体障害児(視覚))	医療的ケア児	その他	不明
全体		775	85.8	67.7	28.3	21.4	14.1	12.9	11.5	10.8	8.8	2.6	0.6
事業区分	児童発達支援	46	80.4	82.6	37.0	10.9	21.7	8.7	21.7	17.4	30.4	2.2	0.0
	医療型児童発達支援	2	50.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	633	88.0	67.9	27.8	22.4	12.2	14.2	10.3	10.9	6.5	2.4	0.3
	福祉型障害児入所施設	13	92.3	46.2	15.4	7.7	0.0	0.0	23.1	15.4	7.7	0.0	0.0
	医療型障害児入所施設	5	40.0	20.0	40.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
実施状況	実施している	505	89.1	76.6	26.9	25.7	9.1	15.2	12.7	11.5	5.9	3.0	0.6
	実施していない	252	79.4	49.6	31.3	13.1	25.0	8.3	9.5	10.3	15.1	2.0	0.4
活用意向	活用したい	422	89.1	77.7	24.2	25.4	8.1	15.4	11.8	10.4	5.2	2.6	0.7
	どちらかといえば活用したい	256	85.5	61.3	31.6	19.9	16.8	10.9	11.3	12.1	8.6	2.3	0.4
	どちらかといえば活用したくない	65	75.4	41.5	41.5	6.2	29.2	4.6	9.2	7.7	24.6	4.6	0.0
	活用したくない	14	50.0	35.7	21.4	7.1	50.0	7.1	7.1	7.1	35.7	0.0	0.0

③ 事業開始年度

問3 貴事業所の事業開始年度をお答えください。

【〇は1つだけ】

〈全体〉

「2012～2016年度」が51.2%と最も高く、次いで「2017～2021年度」が32.8%となっている。

〈事業区分別〉

『2012年以降』の施設は児童発達支援と放課後等デイサービスに多く、特に放課後等デイサービスは2017年以降の5年間の開所が33.0%を占めている。

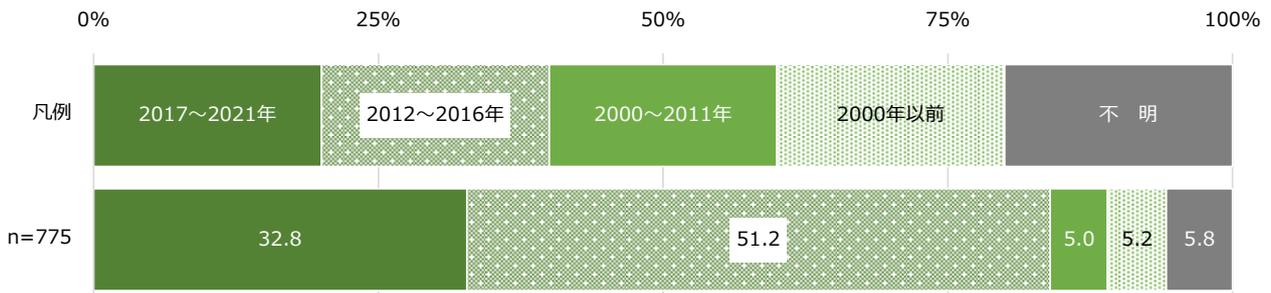
〈SSTの実施状況別〉

SSTを実施している事業所は、実施していない事業所に比べて「2017～2021年」の割合が高くなっている。

〈SSTの活用意向別〉

SSTの活用意向がある事業所ほど、開始年度が最近の開所となっており、活用意向の低い事業所は2011年以前の開所で約4割を占めている。

【事業開始年度】



	調査数	2017～2021年		2012～2016年		2000～2011年		2000年以前		不明
		割合 (%)	調査数	割合 (%)	調査数	割合 (%)	調査数	割合 (%)	調査数	
全体	775	32.8	255	51.2	397	5.0	39	5.2	40	5.8
事業区分別	児童発達支援	28.3	46	30.4	46	6.5	10	19.6	30	15.2
	医療型児童発達支援	0.0	2	0.0	0	50.0	1	50.0	0	0.0
	放課後等デイサービス	33.0	633	55.3	330	4.9	9	2.2	4	4.6
	福祉型障害児入所施設	0.0	13	0.0	0	7.7	1	69.2	10	23.1
	医療型障害児入所施設	0.0	5	0.0	0	20.0	1	80.0	4	0.0
実施状況	実施している	36.4	505	49.5	351	5.0	39	4.0	31	5.1
	実施していない	25.4	252	56.0	397	4.8	37	7.5	78	6.3
活用意向	活用したい	37.2	422	49.1	367	5.0	39	3.8	46	5.0
	どちらかといえば活用したい	29.7	256	55.9	397	3.9	37	4.7	46	5.9
	どちらかといえば活用したくない	18.5	65	53.8	397	6.2	39	13.8	107	7.7
	活用したくない	21.4	14	21.4	14	21.4	14	21.4	14	14.3

④ 経営主体

問4 貴事業所の経営主体をお答えください。

【〇は1つだけ】

<全体>

「営利法人」が51.4%と最も高く、次いで「特定非営利活動法人」が18.7%となっている。

<事業区分別>

「営利法人」「特定非営利活動法人」は児童発達支援と放課後等デイサービスのみとなっており、入所施設の大半は「社会福祉法人」となっている。

<SSTの実施状況別>

SSTを実施している事業所は「営利法人」の割合が高く、一方でSSTを実施していない事業所は「特定非営利活動法人」の割合が高い傾向がある。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向がある事業所は「営利法人」の割合が高く、「特定非営利活動法人」では意向がない割合が高くなっている。

【経営主体】



事業区分	調査数	経営主体 (%)									
		営利法人(会社)	特定非営利活動法人	福祉協議会(社会福祉法人を除く)	地方公共団体	公益法人	社会福祉協議会	医療法人	その他	不明	
全体	775	51.4	18.7	13.0	3.6	0.8	0.3	0.3	10.7	1.3	
事業区分	児童発達支援	46	19.6	6.5	32.6	30.4	0.0	0.0	0.0	8.7	2.2
	医療型児童発達支援	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	633	55.1	20.9	9.5	1.4	0.6	0.3	0.0	11.1	1.1
	福祉型障害児入所施設	13	0.0	0.0	92.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	医療型障害児入所施設	5	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実施状況	実施している	505	57.2	15.0	11.7	3.0	1.0	0.0	0.4	10.9	0.8
	実施していない	252	40.9	25.4	15.5	4.4	0.4	0.8	0.0	11.1	1.6
活用意向	活用したい	422	57.1	14.5	12.1	3.3	0.9	0.0	0.2	10.7	1.2
	どちらかといえば活用したい	256	50.0	22.7	13.3	2.0	0.4	0.4	0.4	9.8	1.2
	どちらかといえば活用したくない	65	30.8	23.1	20.0	12.3	0.0	1.5	0.0	10.8	1.5
	活用したくない	14	21.4	35.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0

⑤ 利用定員

問5 貴事業所の利用定員をお答えください。

【〇は1つだけ】

<全体>

「10～19人」が73.4%と最も高く、次いで「5～9人」が11.7%となっている。

<事業区分別>

児童発達支援と放課後等デイサービスでは「10～19人」の割合が高く、入所施設では『30人以上』が大半を占めている。

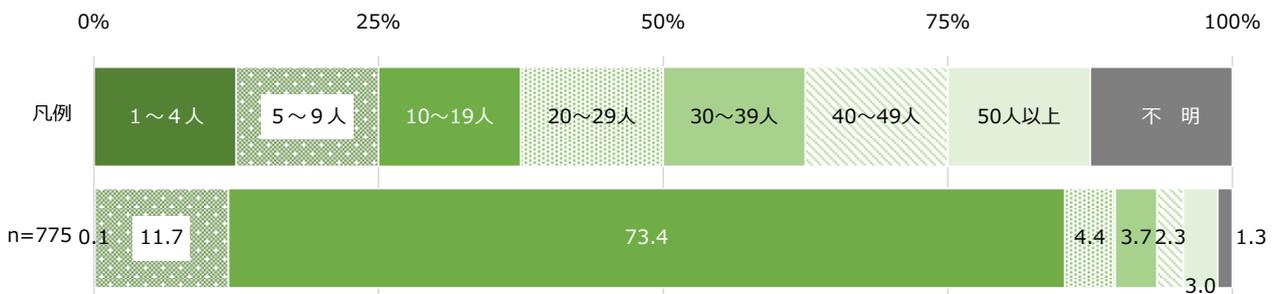
<SSTの実施状況別>

SSTを実施している事業所は「10～19人」の割合が高く、一方でSSTを実施していない事業所は「5～9人」の割合が高い。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向がある事業所は「10～19人」の割合が高く、一方で意向のない事業所は「5～9人」の割合が高い。

【利用定員】



	調査数	1 ~ 4 人	5 ~ 9 人	10 ~ 19 人	20 ~ 29 人	30 ~ 39 人	40 ~ 49 人	50 人 以 上	不 明	
全 体	775	0.1	11.7	73.4	4.4	3.7	2.3	3.0	1.3	
事業 区 分	児童発達支援	46	0.0	2.2	30.4	17.4	19.6	19.6	10.9	0.0
	医療型児童発達支援	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	633	0.2	11.8	79.5	3.8	2.1	0.6	0.9	1.1
	福祉型障害児入所施設	13	0.0	0.0	15.4	0.0	30.8	23.1	30.8	0.0
	医療型障害児入所施設	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0
実 施 状 況	実施している	505	0.2	8.1	78.8	4.2	3.2	1.6	3.0	1.0
	実施していない	252	0.0	18.7	64.3	4.8	4.0	4.0	3.2	1.2
活 用 意 向	活用したい	422	0.0	9.0	76.3	3.8	4.0	1.9	3.1	1.9
	どちらかといえば活用したい	256	0.4	10.9	76.6	4.7	3.5	1.6	2.0	0.4
	どちらかといえば活用したくない	65	0.0	23.1	50.8	6.2	4.6	9.2	6.2	0.0
	活用したくない	14	0.0	42.9	42.9	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0

⑥ 利用者の年齢

問6 令和3年9月1日時点で、貴事業所を利用している18歳未満の年齢別の人数をお答えください。

<全体>

1施設あたりの年齢別の平均利用者数は、「3～5歳」が13.9人と最も多く、次いで「小学校低学年（11.2人）」「小学校高学年（11.0人）」となっている。

<事業区分別>

児童発達支援では「3～5歳」と「小学校高学年」に利用者が集中している。

放課後等デイサービスでは「小学校低学年」「小学校高学年」が中心となっている。

【利用者の年齢別人数（1施設当たり）】

(人)

		0歳	1歳 ～ 2歳	3歳 ～ 5歳	小学校 低学 年	小学 校 高 学 年	中 学 生	高 校 生
全 体		0.1	3.1	13.9	11.2	11.0	6.9	4.89
事 業 区 分	児童発達支援	0.9	22.0	73.8	7.9	37.6	9.6	4.7
	医療型児童発達支援	0.0	3.5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	0.1	0.7	4.0	10.8	10.3	7.1	4.9
	福祉型障害児入所施設	0.0	0.0	1.9	4.4	7.2	9.1	14.1
	医療型障害児入所施設	0.0	1.7	2.6	3.4	4.8	6.3	4.2

2. 障害児支援の内容

① 提供している療育プログラム

問7 貴事業所が18歳未満の障害児等に提供している療育プログラムについて、あてはまるプログラムはありますか。あてはまるものについてお答えください。【〇はいくつでも】

<全体>

「人のかかわりに関する支援」が92.1%と最も高く、一方で「認知と行動に関する支援」は64.9%となっている。

<事業区分別>

児童発達支援・医療型児童発達支援では全てのプログラムが9割以上となっている。一方で、放課後等デイサービスでは「認知と行動に関する支援」が62.6%となっており、福祉型入所施設では「運動や感覚に関する支援」と「認知と行動に関する支援」が4割を下回っている。

<SSTの実施状況別>

SSTを実施している事業所は全てのプログラムが平均より高くなっており、特に「言語・コミュニケーションの獲得に関する支援」「認知と行動に関する支援」で、SSTを実施していない事業所よりも割合が高くなっている。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向がある事業所は「言語・コミュニケーションの獲得に関する支援」「認知と行動に関する支援」の割合が高くなっている。

【療育プログラムの内容】



② 療育プログラムの検討体制

問 8 貴事業所では、療育プログラムを検討するために、どのような人が検討に参加していますか。
よく参加している人についてお答えください。 【〇はいくつでも】

<全体>

「自事業所の職員」が 97.2%と最も高く、次いで「利用者の保護者」が 27.4%となっている。

<事業区分別>

児童発達支援では「相談支援員」「医師・看護師」の割合が「利用者の保護者」よりも高くなっている。一方で、放課後等デイサービスでは「医師・看護師」は1割以下となっている。

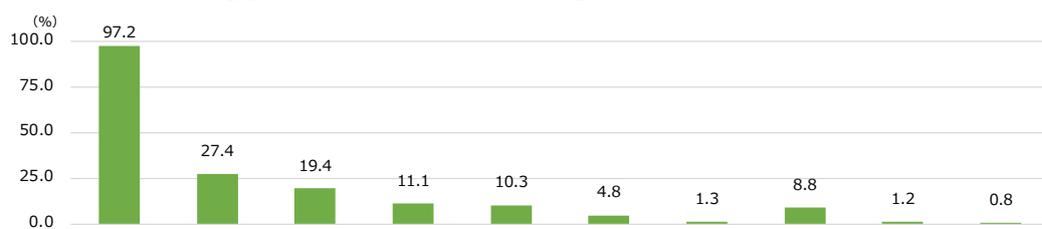
<SSTの実施状況別>

SSTを実施している事業所と実施していない事業所でプログラムの検討体制に大きな差はみられなかった。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向をしたくないと回答した事業所は「相談支援員」が参加する割合が他に比べて低くなっている。

【療育プログラムの検討体制】



調査数	自事業所の職員（指）	利用者の保護者	相談支援員	教育機関（教員・養護教諭）	医師・看護師	大学等の研究者	地方公共団体の職員	その他	あてはまるものはなし	不明		
全体	775	97.2	27.4	19.4	11.1	10.3	4.8	1.3	8.8	1.2	0.8	
事業区分	児童発達支援	46	97.8	23.9	30.4	6.5	28.3	15.2	2.2	26.1	0.0	0.0
	医療型児童発達支援	2	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	633	98.1	28.4	19.3	11.2	7.3	3.0	1.1	7.4	0.8	0.6
	福祉型障害児入所施設	13	76.9	30.8	0.0	15.4	30.8	0.0	0.0	7.7	23.1	0.0
	医療型障害児入所施設	5	80.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
実施状況	実施している	505	98.2	27.1	19.6	11.7	8.7	6.1	1.4	9.9	0.6	0.6
	実施していない	252	95.2	28.6	19.0	9.9	13.1	1.6	1.2	6.3	2.4	0.8
活用意向	活用したい	422	99.1	25.8	19.4	10.7	8.8	6.6	1.4	9.0	0.5	0.2
	どちらかといえば活用したい	256	96.1	30.5	20.7	12.5	10.5	3.1	1.6	7.4	1.2	1.6
	どちらかといえば活用したくない	65	92.3	26.2	18.5	9.2	18.5	1.5	0.0	7.7	3.1	0.0
	活用したくない	14	92.9	28.6	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	14.3	7.1	0.0

③ 療育プログラムの効果測定

問9 貴事業所では、療育プログラム実施後の利用者への効果を把握していますか。

【〇は1つだけ】

<全体>

効果を「把握している」が86.7%と、「把握していない」を大きく上回っている。

<事業区分別>

医療型児童発達支援・福祉型入所施設・医療型入所施設では「把握していない」が高い傾向にある。

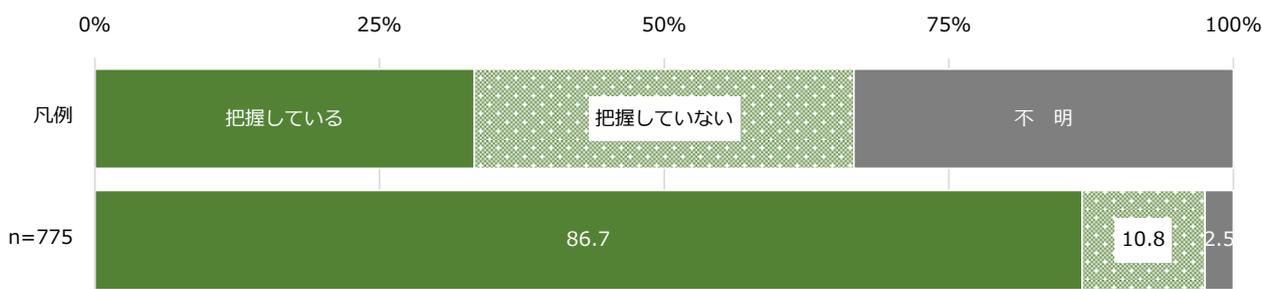
<SSTの実施状況別>

SSTを実施している事業所は、SSTを実施していない事業所に比べて、効果を「把握している」割合が高くなっている。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向をしたくないと回答した事業所は、効果を「把握していない」割合が高くなっている。

【療育プログラムの効果検証】



		調査数	把握している	把握していない	不明
全体		775	86.7	10.8	2.5
事業区分	児童発達支援	46	95.7	4.3	0.0
	医療型児童発達支援	2	50.0	50.0	0.0
	放課後等デイサービス	633	86.7	10.6	2.7
	福祉型障害児入所施設	13	61.5	38.5	0.0
	医療型障害児入所施設	5	60.0	40.0	0.0
実施状況	実施している	505	90.7	7.3	2.0
	実施していない	252	79.4	17.9	2.8
活用意向	活用したい	422	88.9	9.2	1.9
	どちらかといえば活用したい	256	85.5	12.1	2.3
	どちらかといえば活用したくない	65	81.5	12.3	6.2
	活用したくない	14	71.4	28.6	0.0

④ 応用行動分析の実施状況

問 10 貴事業所で実施している効果の把握にあたり、応用行動分析（ABA）、という手法を活用していますか。 【〇は1つだけ】

※問9で「把握している」と回答した場合のみ

<全体>

応用行動分析を「活用している」は44.0%、「活用していない」は45.1%となっている。

<事業区分別>

児童発達支援・放課後等デイサービス・福祉型入所施設で「活用している」が約4割となっており、放課後等デイサービスでは「わからない」が10.7%となっている。

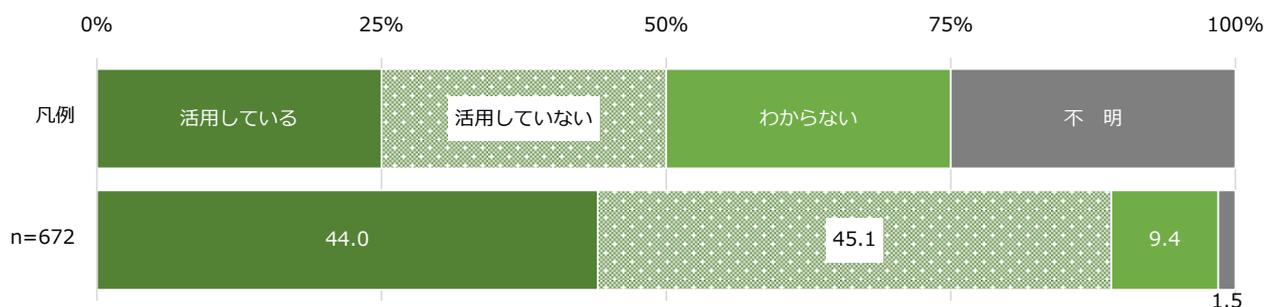
<SSTの実施状況別>

SSTを実施している事業所は、「活用している」が52.8%と、SSTを実施していない事業所に比べて高いものの、35.8%が「活用していない」、10.0%が「わからない」としている。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向がある事業所は、「活用している」が高く、活用意向がない事業所では「活用していない」が8割を超えている。

【応用行動分析の活用状況】



	調査数	活用している (%)	活用していない (%)	わからない (%)	不明 (%)	
全 体	672	44.0	45.1	9.4	1.5	
事業区分別	児童発達支援	44	40.9	54.5	2.3	2.3
	医療型児童発達支援	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	549	43.7	43.9	10.7	1.6
	福祉型障害児入所施設	8	37.5	62.5	0.0	0.0
	医療型障害児入所施設	3	0.0	66.7	33.3	0.0
実施状況	実施している	458	52.8	35.8	10.0	1.3
	実施していない	200	23.5	66.5	8.0	2.0
活用意向	活用したい	375	56.8	33.3	8.5	1.3
	どちらかといえば活用したい	219	32.0	53.9	12.8	1.4
	どちらかといえば活用したくない	53	13.2	83.0	3.8	0.0
	活用したくない	10	0.0	80.0	10.0	10.0

⑤ 療育方針の有無

問 11 貴事業所には、支援対象とする子どもの状態像や療育目標に関する方針などがありますか。
【〇は1つだけ】

<全体>

方針が「ある」が 95.7%と大半を占めている。

<事業区分別>

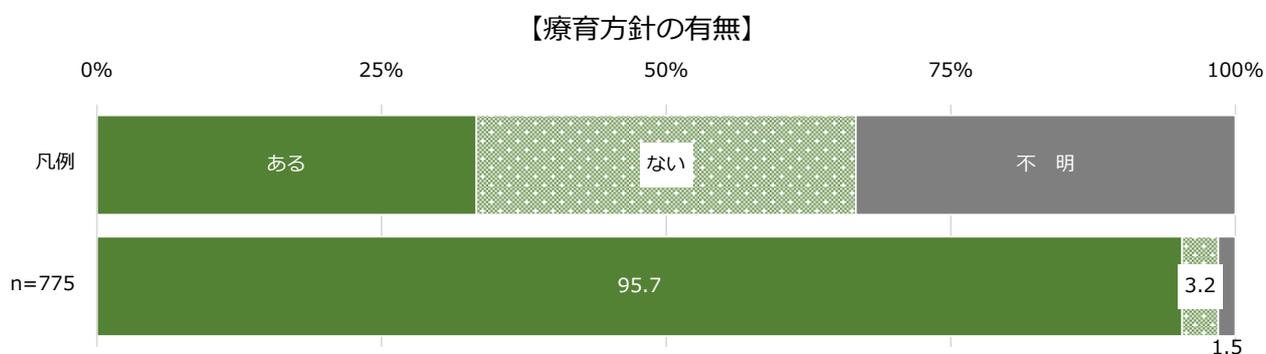
事業区分での差はない。

<SST の実施状況別>

SST の実施状況での差はない。

<SST の活用意向別>

SST の活用意向での差はない。



		調査数	ある	ない	不明
全 体		775	95.7	3.2	1.0
事業区分	児童発達支援	46	95.7	4.3	0.0
	医療型児童発達支援	2	100.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	633	95.6	3.5	0.9
	福祉型障害児入所施設	13	92.3	7.7	0.0
	医療型障害児入所施設	5	100.0	0.0	0.0
実施状況	実施している	505	97.6	1.6	0.8
	実施していない	252	92.1	6.7	1.2
活用意向	活用したい	422	97.4	2.1	0.5
	どちらかといえば活用したい	256	93.0	5.1	2.0
	どちらかといえば活用したくない	65	95.4	4.6	0.0
	活用したくない	14	100.0	0.0	0.0

⑥ 療育方針の周知方法

問 12 貴事業所の方針を、どのように行政や他の障害福祉サービス事業所に共有していますか。
【〇はいくつでも】

※問 11 で「ある」と回答した場合のみ

<全体>

「事業所のホームページやパンフレット」が 71.2%と最も高く、次いで「利用者の個別課題に関する会議」が 62.9%となっている。

<事業区分別>

福祉型入所施設では全ての共有方法で平均より低くなっている。

<SST の実施状況別>

SST を実施している事業所は、実施していない事業所に比べて、全ての手法で割合が高くなっている。

<SST の活用意向別>

SST の活用意向がない事業所は、「事業所のホームページやパンフレット」の割合が最も高くなっており、SST の活用意向による共有手法に大きな差はない。

【療育方針の外部への共有方法】



⑦ 不適応行動への対応方針の有無

問 13 貴事業所では、利用者の不適応行動への職員の対応方法に関する明文化された方針や指針がありますか。 【〇は1つだけ】

<全体>

不適応行動への指針が「ある」は 41.0%、「ない」は 54.3%となっている。

<事業区分別>

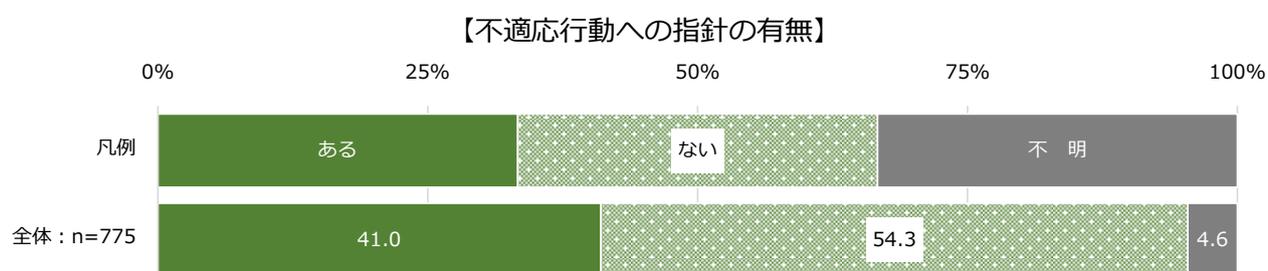
事業所区分による大きな差はない。

<SST の実施状況別>

SST を実施している事業所は、「ある」が 49.7%となっており、実施していない事業所の 23.8%を大きく上回っている。

<SST の活用意向別>

SST の活用意向が高い事業所ほど、指針が「ある」割合が高くなっている。



	調査数	ある	ない	不明	
全 体	775	41.0	54.3	4.6	
事業区分	児童発達支援	46	43.5	45.7	10.9
	医療型児童発達支援	2	0.0	100.0	0.0
	放課後等デイサービス	633	41.2	54.3	4.4
	福祉型障害児入所施設	13	38.5	53.8	7.7
	医療型障害児入所施設	5	20.0	80.0	0.0
実施状況	実施している	505	49.7	45.3	5.0
	実施していない	252	23.8	73.8	2.4
活用意向	活用したい	422	47.4	47.6	5.0
	どちらかといえば活用したい	256	32.8	63.3	3.9
	どちらかといえば活用したくない	65	32.3	66.2	1.5
	活用したくない	14	28.6	71.4	0.0

⑧ 不適応行動への対応方針の内容

問 14 貴事業所の方針・指針の内容について、あてはまるものとその具体例をお答えください。
【〇はいくつでも】

※問 13 で「ある」と回答した場合のみ

<全体>

指針の内容は「利用者への職員の働きかけ方」が 75.2%と最も高く、次いで「指導が必要な不適応行動についての事例」が 59.4%となっている。

<事業区分別>

放課後等デイサービスは児童発達支援に比べて、「指導が必要な不適応行動についての事例」の割合が高くなっている。

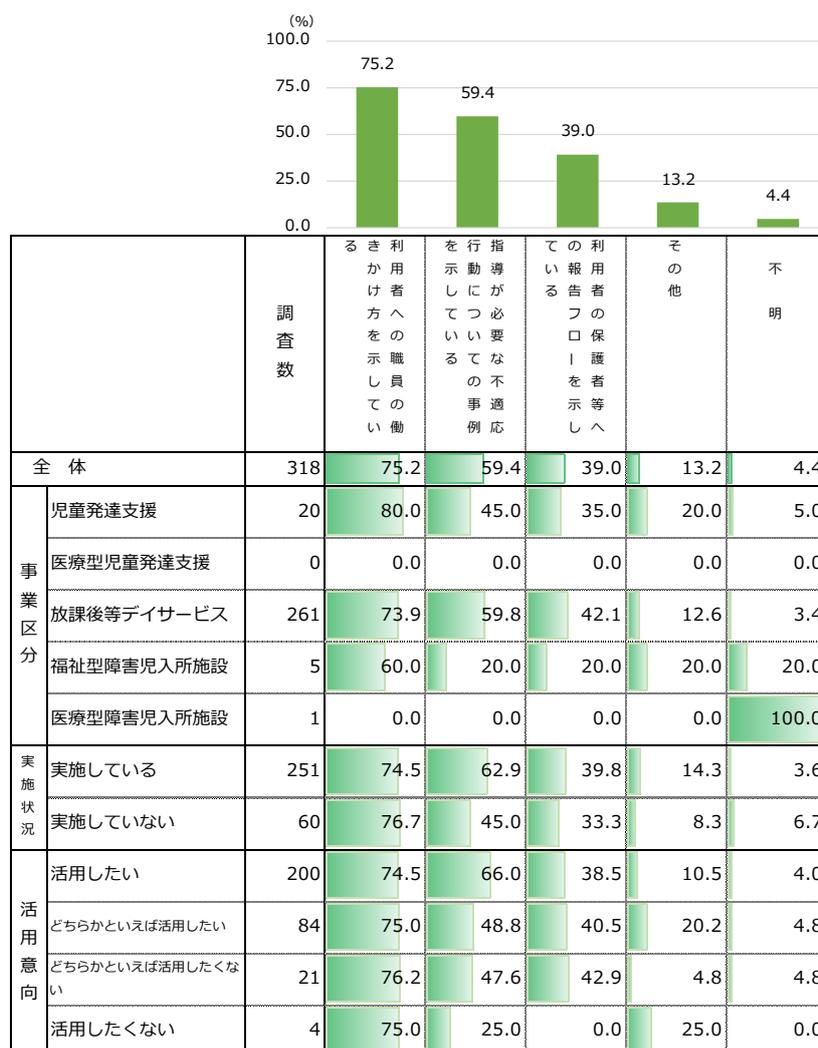
<SST の実施状況別>

SST を実施している事業所は、「指導が必要な不適応行動についての事例」が 62.9%となっており、実施していない事業所の 45.0%を大きく上回っている。

<SST の活用意向別>

SST の活用意向が高い事業所ほど、「指導が必要な不適応行動についての事例」の割合が高くなっている。

【不適応行動への指針の内容】



⑨ 不適応行動への対応方針の周知

問 15 貴事業所の方針・指針は、どなたに周知していますか。事業所から積極的に周知している対象をお答えください。 【〇はいくつでも】

※問 13 で「ある」と回答した場合のみ

<全体>

指針の周知先は「事業所の職員（正規）・（臨時）」が約 9 割となっており、「利用者の保護者」が 80.5%となっている。

<事業区分別>

事業所区分による大きな差はない。

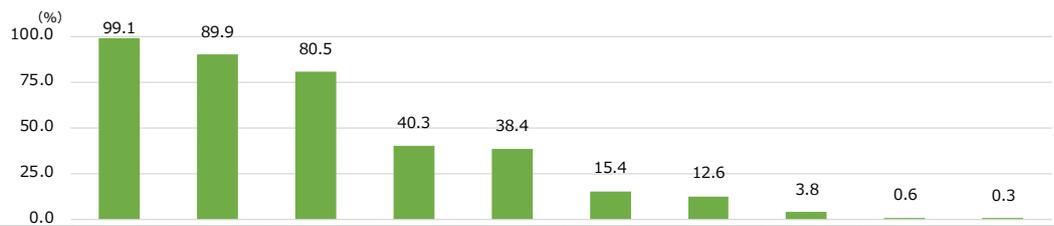
<SST の実施状況別>

SST を実施している事業所は、実施していない事業所に比べて、「利用者の保護者」「利用者を担当している相談支援員」「利用者」の割合が高くなっている。

<SST の活用意向別>

SST の活用意向が高い事業所ほど、「利用者を担当している相談支援員」「利用者」の割合が高くなっている。

【指針の周知先】



	調査数	事業所の正規職員	事業所の臨時職員	利用者の保護者	利用者を担当している相談支援員	利用者	教育・保育施設	利用者が福祉施設を利用している	その他	特に周知していない	不明	
全体	318	99.1	89.9	80.5	40.3	38.4	15.4	12.6	3.8	0.6	0.3	
事業区分	児童発達支援	20	100.0	80.0	85.0	45.0	25.0	15.0	15.0	10.0	0.0	0.0
	医療型児童発達支援	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	261	98.9	89.3	79.7	39.8	40.6	15.7	13.0	3.1	0.8	0.4
	福祉型障害児入所施設	5	100.0	100.0	80.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	医療型障害児入所施設	1	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実施状況	実施している	251	99.6	89.6	84.5	43.8	41.4	19.1	14.7	3.2	0.4	0.0
	実施していない	60	98.3	91.7	66.7	28.3	26.7	1.7	5.0	6.7	1.7	0.0
活用意向	活用したい	200	98.5	87.5	82.0	44.5	40.5	17.0	14.0	2.5	1.0	0.5
	どちらかといえば活用したい	84	100.0	94.0	82.1	31.0	38.1	13.1	9.5	3.6	0.0	0.0
	どちらかといえば活用したくない	21	100.0	95.2	52.4	33.3	23.8	0.0	9.5	9.5	0.0	0.0
	活用したくない	4	100.0	100.0	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3. ソーシャルスキルトレーニングの認知・実施状況

① SST の認知状況

問 16 あなたは、「ソーシャルスキルトレーニング」という、認知行動療法に位置付けられる新しい支援方法をこの調査の前に聞いたことがありましたか。 【〇は1つだけ】

<全体>

SST の認知は「聞いたことがある」が 90.2%と大半を占めている。

<事業区分別>

事業所区分による大きな差はない。

<SST の実施状況別>

SST を実施していない事業所でも、「聞いたことがある」が 79.8%となっている。

<SST の活用意向別>

SST の活用意向が低い事業所でも、「聞いたことがある」が7割以上となっている



		調査数	聞いたことがある	聞いたことがない	不明
全 体		775	90.2	8.3	1.5
事業区分	児童発達支援	46	93.5	2.2	4.3
	医療型児童発達支援	2	100.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	633	89.9	8.7	1.4
	福祉型障害児入所施設	13	100.0	0.0	0.0
	医療型障害児入所施設	5	60.0	40.0	0.0
実施状況	実施している	505	96.2	2.6	1.2
	実施していない	252	79.8	19.4	0.8
活用意向	活用したい	422	95.0	3.3	1.7
	どちらかといえば活用したい	256	85.5	13.3	1.2
	どちらかといえば活用したくない	65	84.6	13.8	1.5
	活用したくない	14	71.4	28.6	0.0

② SST の把握状況

問 17 あなたは、「ソーシャルスキルトレーニング」の内容について、どれくらい把握していますか。 【〇は1つだけ】

※問 16 で「聞いたことがある」と回答した場合のみ

<全体>

SST の内容把握は「把握している」が 34.3%、「どちらかといえば把握している」と合計すると 87.5%が内容を把握できている。

<事業区分別>

事業所区分による大きな差はない。

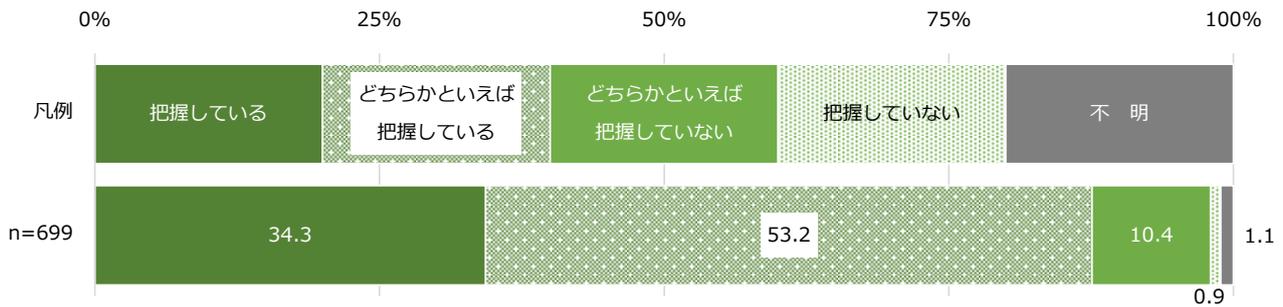
<SST の実施状況別>

SST を実施していない事業所では、「把握している」が 14.4%と低く、「どちらかといえば把握していない」が 25.4%と高くなっている。

<SST の活用意向別>

SST の活用意向が高い事業所では、「把握している」が 48.1%と高いものの、どちらかといえば活用したい事業所では 14.2%と低く、「どちらかといえば把握していない」がいるが 16.9%と上回っている。

【SST の内容の把握状況】



		調査数	把握している	どちらかといえば把握している	どちらかといえば把握していない	把握していない	不明
全 体		699	34.3	53.2	10.4	0.9	1.1
事業区分	児童発達支援	43	41.9	51.2	4.7	0.0	2.3
	医療型児童発達支援	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	569	33.9	52.7	11.4	0.7	1.2
	福祉型障害児入所施設	13	23.1	53.8	15.4	7.7	0.0
	医療型障害児入所施設	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
実施状況	実施している	486	42.8	52.1	4.5	0.0	0.6
	実施していない	201	14.4	54.7	25.4	3.0	2.5
活用意向	活用したい	401	48.1	47.9	3.7	0.0	0.2
	どちらかといえば活用したい	219	14.2	65.8	16.9	1.4	1.8
	どちらかといえば活用したくない	55	18.2	41.8	32.7	3.6	3.6
	活用したくない	10	10.0	70.0	10.0	10.0	0.0

③ SSTに関する情報の入手先

問 18 あなたは、「ソーシャルスキルトレーニング」について、どこから情報を入手していますか。
【〇はいくつでも】

※問 16 で「聞いたことがある」と回答した場合のみ

<全体>

情報の入手先は「インターネット」が 61.5%と最も高く、次いで「講演会・セミナー」が 56.4%となっている。

<事業区分別>

児童発達支援では、「講演会・セミナー」「書籍」「国や都の資料」「教育・保育施設との情報交換」「役所・役場の情報提供」で平均を上回っており、情報源が多様となっている。

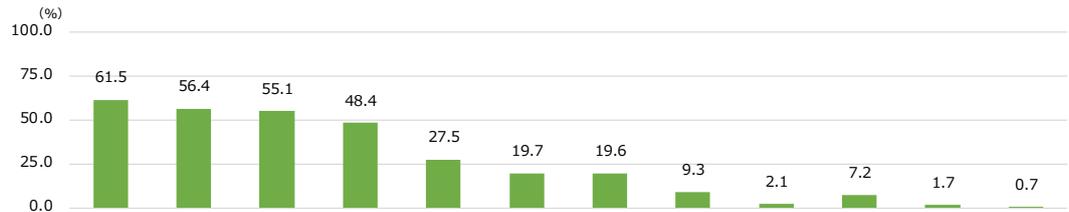
<SSTの実施状況別>

SSTを実施している事業所では、実施していない事業所に比べて、「書籍」「法人内での情報交換」が大きく上回っている。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向が高い事業所ほど、「インターネット」「講演会・セミナー」「書籍」「法人内での情報交換」といった主体的な情報取得が必要なものの割合が高くなっている。

【SSTに関する情報の入手先】



	調査数	インターネット	講演会・セミナー	書籍	法人内での情報交換	国や都の資料	情報交換	法人外の事業所との情報交換	教育・保育施設との情報交換	役所・役場の情報提供	保健所の情報提供	その他	わからない/覚えていない	不明
全体	699	61.5	56.4	55.1	48.4	27.5	19.7	19.6	9.3	2.1	7.2	1.7	0.7	
事業区分別	児童発達支援	43	60.5	65.1	67.4	44.2	30.2	14.0	27.9	18.6	2.3	7.0	0.0	0.0
	医療型児童発達支援	2	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	569	61.9	55.9	53.6	48.0	26.4	20.4	17.2	9.0	2.5	7.2	1.9	0.9
	福祉型障害児入所施設	13	38.5	46.2	46.2	30.8	15.4	7.7	15.4	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0
	医療型障害児入所施設	3	33.3	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実施状況	実施している	486	66.0	59.7	62.1	58.0	30.5	21.2	21.8	10.7	3.1	6.6	1.0	0.2
	実施していない	201	50.7	48.3	37.8	25.4	19.4	15.4	12.4	5.5	0.0	8.0	3.5	2.0
活用意向	活用したい	401	66.1	61.3	64.1	59.1	29.2	21.7	22.2	10.5	3.0	8.0	0.0	0.2
	どちらかといえば活用したい	219	58.0	51.6	43.8	35.2	26.9	15.1	16.9	6.8	1.4	5.9	3.2	0.9
	どちらかといえば活用したくない	55	41.8	45.5	38.2	25.5	18.2	18.2	18.2	10.9	0.0	9.1	5.5	1.8
	活用したくない	10	50.0	30.0	40.0	0.0	30.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0

④ SSTの実施状況

問 19 貴事業所では、「ソーシャルスキルトレーニング」を実施していますか。過去3年間の実施状況からお答えください。【〇は1つだけ】

<全体>

SSTの実施状況は「実施している」が62.5%、「実施していない」が32.5%となっている。

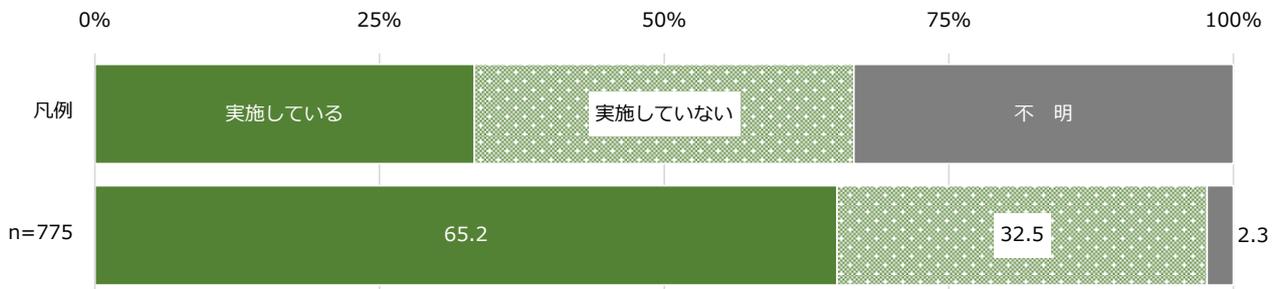
<事業区分別>

児童発達支援・放課後等デイサービスでは「実施している」が半数を上回っているものの、その他の事業区分では半数を下回っている。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向が高い事業所では「実施している」が85.8%となっており、どちらかといえば活用したいと考えている事業所では「実施している」は51.2%、「実施していない」は46.9%となっている。

【SSTの実施状況】



	調査数	実施している (%)	実施していない (%)	不明 (%)	
全 体	775	65.2	32.5	2.3	
事業区分	児童発達支援	46	58.7	30.4	10.9
	医療型児童発達支援	2	0.0	100.0	0.0
	放課後等デイサービス	633	65.2	32.9	1.9
	福祉型障害児入所施設	13	46.2	53.8	0.0
	医療型障害児入所施設	5	20.0	80.0	0.0
活用意向	活用したい	422	85.8	11.4	2.8
	どちらかといえば活用したい	256	51.2	46.9	2.0
	どちらかといえば活用したくない	65	3.1	96.9	0.0
	活用したくない	14	0.0	100.0	0.0

⑤ SSTの実施内容

問 20 貴事業所で実践している「ソーシャルスキルトレーニング」のテーマをお答えください。

【〇はいくつでも】

※問 19 で「実施している」と回答した場合のみ

<全体>

SSTの実施内容は「対人関係」が97.0%と大半を占めており、「金銭管理・買い物」が57.4%となっている。

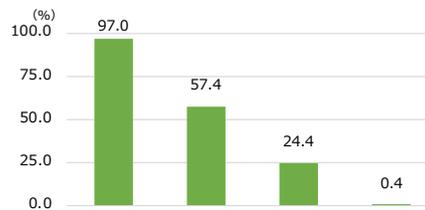
<事業区分別>

児童発達支援では、「金銭管理・買い物」の割合が低くなっている。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向が高い事業所ほど、「金銭管理・買い物」や「その他」といった「対人関係」以外の内容についても選択する割合が高くなっている。

【SSTの実施内容】



		調査数	対人関係	金銭管理・買い物	その他	不明
全 体		505	97.0	57.4	24.4	0.4
事業区分別	児童発達支援	27	100.0	14.8	29.6	0.0
	医療型児童発達支援	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	413	97.1	60.3	23.2	0.2
	福祉型障害児入所施設	6	83.3	66.7	33.3	0.0
	医療型障害児入所施設	1	100.0	100.0	0.0	0.0
活用意向	活用したい	362	97.8	60.8	29.3	0.3
	どちらかといえば活用したい	131	94.7	49.6	10.7	0.8
	どちらかといえば活用したくない	2	100.0	0.0	50.0	0.0
	活用したくない	0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑥ SSTの実施方法

問 22 貴事業所では、「ソーシャルスキルトレーニング」をどのように実施していますか。

【〇はいくつでも】

※問 19 で「実施している」と回答した場合のみ

<全体>

SSTの実施方法は「自事業所の職員が実施している」が94.7%と大半を占めており、「事業所外から講師を呼んでいる」は3.6%となっている。

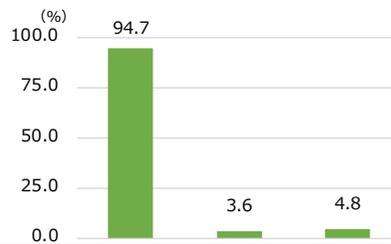
<事業区分別>

事業区分による大きな差はない。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向による大きな差はない。

【SSTの実施方法】



	調査数	自事業所の職員が実施している (%)	事業所外から講師を呼んでいる (%)	不明 (%)	
全体	505	94.7	3.6	4.8	
事業区分	児童発達支援	27	96.3	7.4	3.7
	医療型児童発達支援	0	0.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	413	94.2	3.4	5.1
	福祉型障害児入所施設	6	100.0	16.7	0.0
	医療型障害児入所施設	1	100.0	0.0	0.0
活用意向	活用したい	362	95.3	4.1	4.1
	どちらかといえば活用したい	131	95.4	0.8	4.6
	どちらかといえば活用したくない	2	100.0	0.0	0.0
	活用したくない	0	0.0	0.0	0.0

⑦ SST を実施している職種

問 23 貴事業所で「ソーシャルスキルトレーニング」を実施している職員の職種・資格についてお答えください。 【〇はいくつでも】

※問 19 で「実施している」と回答した場合のみ

<全体>

SST を実施している職種は「児童指導員」が 93.3%と大半を占めており、「児童発達支援管理責任者」が 83.2%となっている。

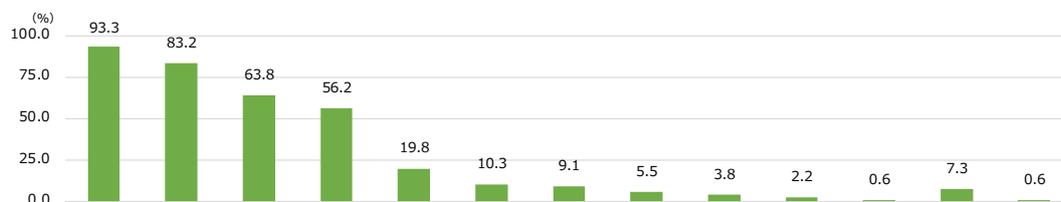
<事業区分別>

児童発達支援では、「心理士」「作業療法士」「言語聴覚士」の割合が平均を大きく上回っている。放課後等デイサービスでは、「心理士」「作業療法士」「言語聴覚士」「理学療法士」といった専門職の割合が平均を下回っている。

<SST の活用意向別>

SST の活用意向の高い事業所ほど、「児童指導員」以外の職種の割合が高くなっている。

【SST を実施している職種】



		調査数	児童指導員	児童発達支援管理責任者	保育士	施設管理者	心理士	作業療法士	言語聴覚士	理学療法士	看護師	相談員	医師	その他	不明
全 体		505	93.3	83.2	63.8	56.2	19.8	10.3	9.1	5.5	3.8	2.2	0.6	7.3	0.6
事業区分別	児童発達支援	27	92.6	63.0	85.2	25.9	40.7	33.3	33.3	11.1	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0
	医療型児童発達支援	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	413	93.7	86.2	61.3	57.9	17.4	8.0	6.8	4.8	3.6	1.9	0.7	7.5	0.5
	福祉型障害児入所施設	6	66.7	33.3	66.7	0.0	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	医療型障害児入所施設	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
活用意向	活用したい	362	93.6	84.8	65.7	59.1	22.9	11.6	10.2	5.2	3.9	2.5	0.8	8.3	0.3
	どちらかといえば活用したい	131	92.4	78.6	59.5	46.6	12.2	6.1	6.1	6.1	3.1	1.5	0.0	3.8	0.8
	どちらかといえば活用したくない	2	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	活用したくない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑧ SSTの参考にしている情報

問 24 貴事業所で実践している「ソーシャルスキルトレーニング」の内容について、参考にしている情報や事例をお答えください。 【〇はいくつでも】

※問 19で「実施している」と回答した場合のみ

<全体>

SSTの参考にしている情報は「自事業所での経験やノウハウ」が89.5%と大半を占めており、「法人内の他の事業所の事例」が47.3%と法人内での情報が上位となっている。

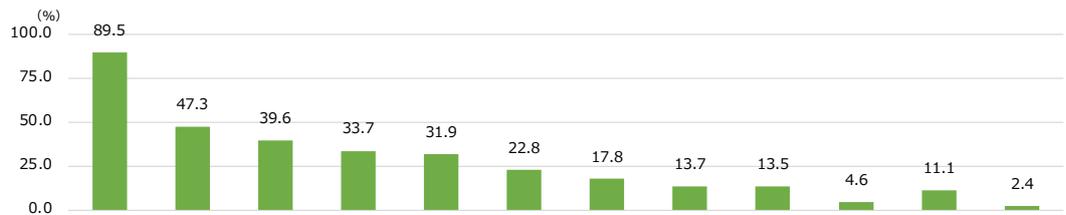
<事業区分別>

児童発達支援では、「大学等の研究者の論文や情報」「医療関係者の情報」の割合が他に比べて高く、放課後等デイサービスでは、「法人内の他の事業所の事例」「利用者の保護者の情報」「他の法人の事例」が高い傾向がある。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向の高い事業所ほど、「法人内の他の事業所の事例」「利用者の保護者の情報」「大学等の研究者の論文や情報」が高い傾向がある。

【SSTの実施にあたっての参考情報】



事業区分	調査数	参考情報の種類 (%)													
		自事業所での経験やノウハウ	法人内の他の事業所の事例	の教育情報・保育施設	の利用者の保護者	他の法人の事例	の大学等の論文や研究者	国や都府県等の情報	医療関係者の情報	障害者団体等の情報	役所・役場の情報	その他	不明		
全体	505	89.5	47.3	39.6	33.7	31.9	22.8	17.8	13.7	13.5	4.6	11.1	2.4		
事業区分	児童発達支援	27	85.2	29.6	40.7	18.5	14.8	44.4	14.8	22.2	11.1	7.4	14.8	3.7	
	医療型児童発達支援	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	放課後等デイサービス	413	89.8	49.4	37.8	35.1	32.0	18.4	16.2	12.6	14.8	4.6	10.9	2.2	
	福祉型障害児入所施設	6	83.3	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	16.7	0.0	50.0	0.0	
	医療型障害児入所施設	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
活用意向	活用したい	362	92.3	51.9	41.7	36.7	33.4	25.7	16.9	16.0	13.3	4.4	11.9	0.6	
	どちらかといえば活用したい	131	84.0	35.9	33.6	24.4	27.5	15.3	19.8	7.6	12.2	5.3	9.2	6.1	
	どちらかといえば活用したくない	2	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	活用したくない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

⑨ SSTの実施効果

問 25 貴事業所で実践している「ソーシャルスキルトレーニング」の効果について、あなたの考えをお答えください。 【〇は1つだけ】

※問 19で「実施している」と回答した場合のみ

<全体>

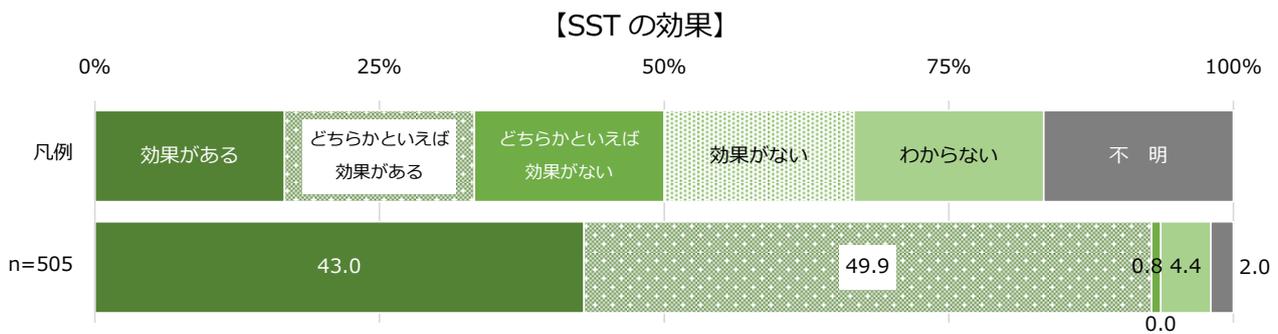
SSTの効果は「効果がある」が43.0%となっており、「どちらかといえば効果がある」と合計すると92.9%で効果があると評価している。

<事業区分別>

児童発達支援では、「効果がある」が63.0%となっており、他の事業区分に比べて高くなっている。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向の高い事業所では、「効果がある」が55.0%、「どちらかといえば効果がある」が41.4%となっているのに対して、どちらかといえば活用したい事業所では「効果がある」は9.9%と低く、「どちらかといえば効果がある」が74.8%となっている。



		調査数	効果がある	どちらかといえば効果がある	どちらかといえば効果がない	効果がない	わからない	不明
全 体		505	43.0	49.9	0.8	0.0	4.4	2.0
事業区分	児童発達支援	27	63.0	33.3	0.0	0.0	0.0	3.7
	医療型児童発達支援	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放課後等デイサービス	413	42.4	49.9	0.5	0.0	5.3	1.9
	福祉型障害児入所施設	6	33.3	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	医療型障害児入所施設	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
活用意向	活用したい	362	55.0	41.4	0.3	0.0	2.5	0.8
	どちらかといえば活用したい	131	9.9	74.8	1.5	0.0	9.9	3.8
	どちらかといえば活用したくない	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	活用したくない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑩ SSTの実施にあたっての課題

問 26 貴事業所で「ソーシャルスキルトレーニング」を実施する上での課題（実施していない理由）をお答えください。【〇はいくつでも】

<全体>

実施にあたっての課題は「専門家に相談する機会がない」が34.7%と最も高く、「プログラムの内容やパターンが少ない」が29.7%となっている。

<事業区分別>

福祉型入所施設では、「事業所の職員がプログラム作成に時間を取られる」が69.2%と高く、「SSTの正しい方法が分からない」「利用者の具体的な成長や変化が把握しづらい」でも平均を上回っている。

<SSTの実施状況別>

SSTを実施している事業所では、実施していない事業所に比べて、「プログラムの内容やパターンが少ない」「事業所の職員がプログラム作成に時間を取られる」が大きく上回っている。

一方で、SSTを実施していない事業所では、「SSTの正しい方法がわからない」が50.4%となっている。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向の高い事業所では、「事業所の職員がプログラム作成に時間を取られる」が高い傾向にあり、活用意向が低い事業所では「SSTの正しい方法がわからない」が高い傾向がある。

【SST実施にあたっての課題】



⑪ SSTの今後の活用方針

問 27 貴事業所では、今後、「ソーシャルスキルトレーニング」を活用していきたいと思いませんか。
【〇は1つだけ】

<全体>

SSTの活用意向は「活用したい」が54.5%となっており、「どちらかといえば活用したい」と合計すると87.5%がSSTを活用したいと考えている。

<事業区分別>

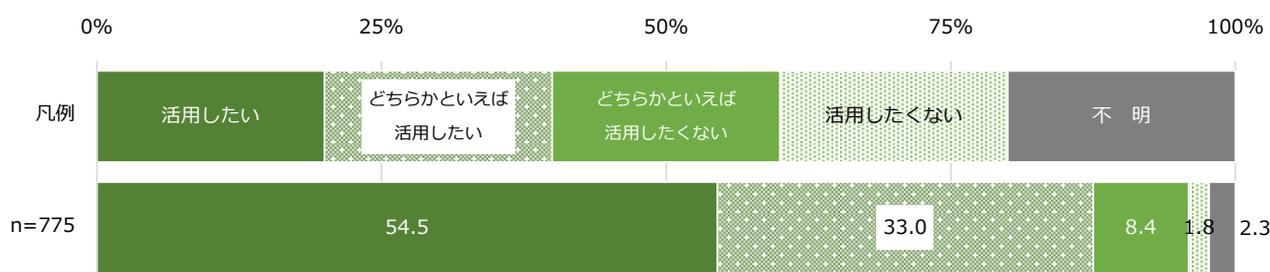
児童発達支援では「活用したい」が56.5%と最も高いものの、「どちらかといえば活用したくない」も17.4%となっている。

<SSTの実施状況別>

SSTを実施している事業所では、「活用したい」が71.7%となっており、「どちらかといえば活用したい」と合計すると97.6%となっている。

SSTを実施していない事業所でも、「活用したい」「どちらかといえば活用したい」の合計は66.6%となっており、「活用したくない」「どちらかといえば活用たくない」を上回っている。

【SSTの今後の活用意向】



	調査数	活用したい		どちらかといえば活用したい		どちらかといえば活用したくない		活用したくない		不明	
		割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数
全体	775	54.5	423	33.0	256	8.4	65	1.8	14	2.3	23
事業区分	児童発達支援	56.5	26	23.9	11	17.4	8	0.0	0	2.2	1
	医療型児童発達支援	0.0	0	50.0	2	0.0	0	50.0	2	0.0	0
	放課後等デイサービス	54.2	343	34.0	221	7.7	50	1.6	10	2.5	16
	福祉型障害児入所施設	46.2	6	38.5	5	15.4	2	0.0	0	0.0	0
	医療型障害児入所施設	20.0	1	40.0	2	20.0	1	20.0	1	0.0	0
実施状況	実施している	71.7	359	25.9	12	0.4	2	0.0	0	2.0	1
	実施していない	19.0	9	47.6	23	25.0	12	5.6	3	2.8	1

⑫ 実施したい SST のテーマ

問 28 貴事業所で活用したい「ソーシャルスキルトレーニング」のテーマをお答えください。

【〇はいくつでも】

※問 27 で「活用したい」「どちらかといえば活用したい」と回答した場合のみ

<全体>

実施したいテーマは「対人関係」が 78.3%と最も高く、「金銭管理・買い物」が 39.2%となっている。

<事業区分別>

児童発達支援では、他の事業区分に比べて「金銭管理・買い物」の割合が低くなっている。

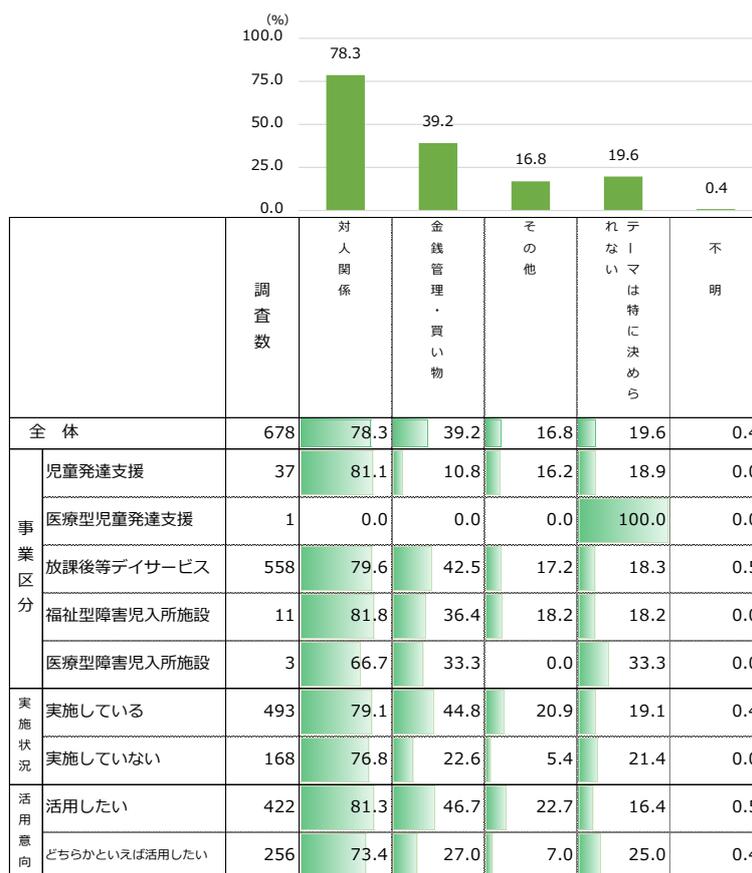
<SST の実施状況別>

SST を実施している事業所では、実施していない事業所に比べて、「金銭管理・買い物」が高くなっている。

<SST の活用意向別>

SST の活用意向の高い事業所ほど、多様なテーマで割合が高い傾向がある。

【実施したい SST のテーマ】



⑬ SST を活用したい理由

問 29 活用したい理由を教えてください。

【〇はいくつでも】

※問 27 で「活用したい」「どちらかといえば活用したい」と回答した場合のみ

<全体>

SST を活用したい理由は「障害児の自立・成長に向けて必要な取組だと思ふ」が 92.3%と最も高く、次いで「事業所の職員が普段の指導やケアを振り返るきっかけになる」が 56.0%となっている。

<事業区分別>

福祉型入所施設・医療型入所施設では「事業所の職員が普段の指導やケアを振り返るきっかけになる」が平均より高く、児童発達支援・放課後等デイサービスでは「利用者の保護者等の当事者側から要望がある」が平均より高くなっている。

<SST の実施状況別>

SST を実施している事業所では、実施していない事業所に比べて、「利用者の保護者等の当事者側から要望がある」「既にソーシャルスキルトレーニングが事業所のプログラムとして確立している」が高くなっている。

<SST の活用意向別>

SST の活用意向の高い事業所では、「利用者の保護者等の当事者側から要望がある」「既にソーシャルスキルトレーニングが事業所のプログラムとして確立している」が高くなっている。

【活用したい理由】



⑭ SST を活用したくない理由

問 30 活用したくない理由を教えてください。

【〇はいくつでも】

※問 27 で「活用したくない」「どちらかといえば活用したくない」と回答した場合のみ

<全体>

SST を活用したくない理由は「自事業所の利用者への支援としては、対象の状態像が異なる」が 64.6%と最も高く、次いで「既存のプログラムの内容が充実している」が 24.1%となっている。

<事業区分別>

事業区分による大きな差はない。

<SST の実施状況別>

実施状況による大きな差はない。

<SST の活用意向別>

SST の活用意向の低いでは、「その他」が高くなっている。

【活用したくない理由】



⑮ SSTの導入に必要なサポート・施策

問 31 ソーシャルスキルトレーニングを導入する上で、必要なサポートや施策についてお答えください。
【〇はいくつでも】

<全体>

SSTを行う上で必要な支援は「事業所職員を対象にした研修会などによる技術指導」が75.7%と最も高く、次いで「取組内容に関する事業者へのわかりやすい情報提供」が63.4%となっている。

<事業区分別>

事業区分による大きな差はない。

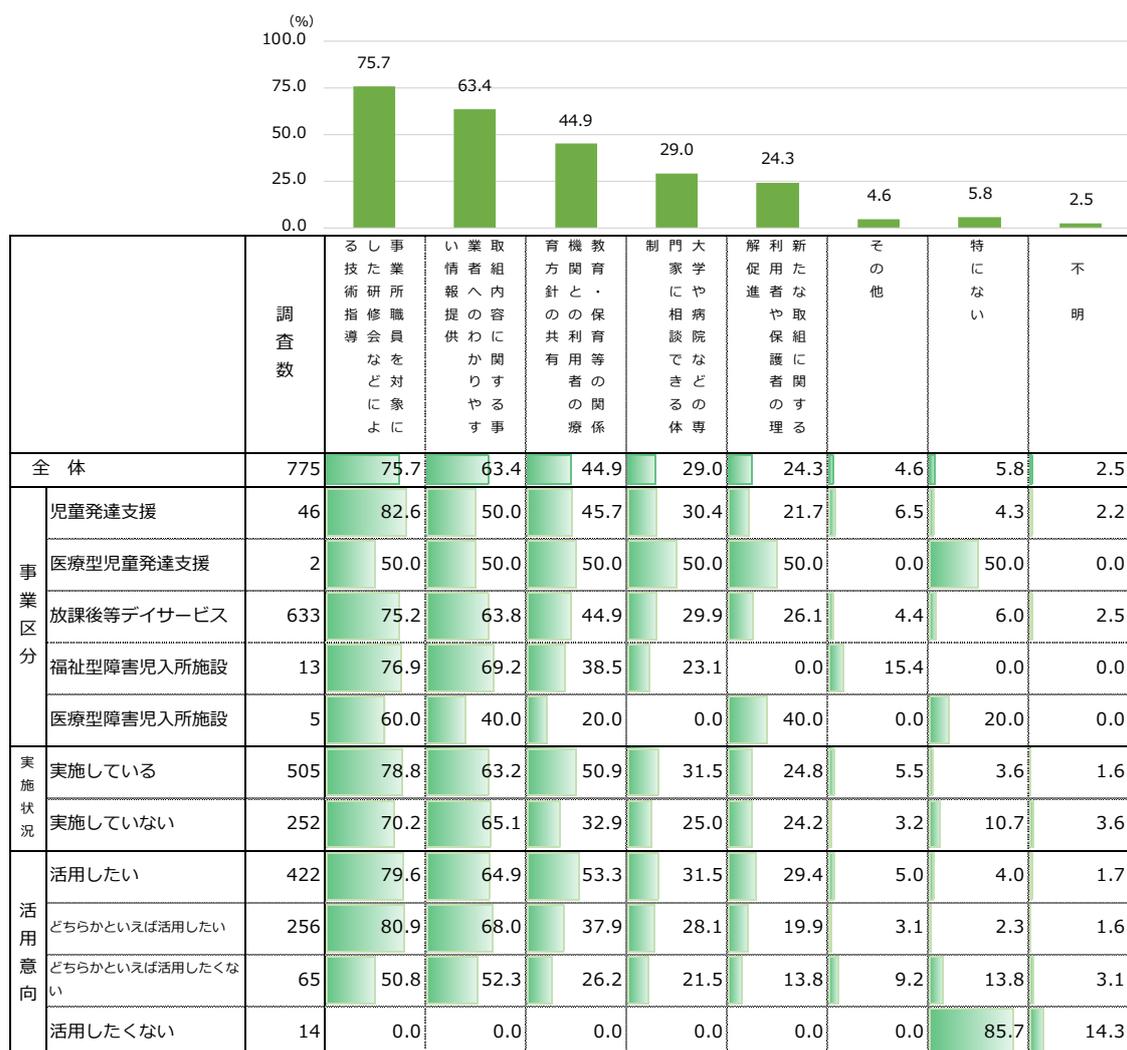
<SSTの実施状況別>

SSTを実施している事業所では、実施していない事業所に比べて、「教育・保育等の関係機関との利用者の療育方針の共有」が高くなっている。

<SSTの活用意向別>

SSTの活用意向が高くなるほど、「教育・保育等の関係機関との利用者の療育方針の共有」「大学や病院などの専門家に相談できる体制」「新たな取組に関する利用者や保護者の理解促進」が高くなっている。

【SSTの実施に必要な支援】



⑯ 自由意見

問 32 東京都の障害児福祉施策に対してご意見がありましたらご自由に記入ください。

【自由記述】

内容	件数
SST の研修・講習について	31 件
SST の実施内容について	16 件
SST の周知について	8 件
SST に関するその他の意見	10 件
専門人材の確保・専門人材による支援	5 件
学校との連携	4 件
様々な関連機関との連携	8 件
地域との協働	3 件
マニュアル・ガイドラインの整備	3 件
財政支援	26 件
アンケートについて	5 件
その他の意見	36 件

<主な意見の抜粋>

■ SST の研修・講習について

- ・ S S Tをもっと事業所にて実践していきたいので、参加しやすい研修を各自治体で行って欲しい。
- ・ S S Tは非常に重要ですがノウハウが分かりづらく、効果もはっきりと分かるというものでもないので更に研修が必要な分野だと思う。
- ・ 子どもたちにとって有効な指導方法を、ネット、コーチングなどで、実践配信して欲しい。子どもがいない午前中など時間がとりやすく学びやすいと思う。
- ・ オンラインで気軽に参加できる研修を増やしていただけると助かる。

■ SST の実施内容について

- ・ S S Tのプログラムのロールプレイングなどでは 100 点がとれるのに、実際学校等ではトラブルを起こしている子どもがいる。S S T以前に、脳の基礎感覚が育っていない場合が多く、そのベースアップをしつつ、遊びの中などで実際に起こるトラブルの機会の中で「S S T」を行う事が大切だと思っている。
- ・ ソーシャルスキルトレーニングとあえて表記しなくても、日々のさまざまな活動の中で十分行っていると思う。
- ・ 療育プログラムへの偏重は人の心なき支援につながりかねないと危惧しています。どのように優れたプログラムも子どもたちが自発的に取り組まねば、効果は限定的です。最も自然で効果のあるプログラムは子ども達の自発的な「遊び」であると考えています。子ども達が安心して自分の気持ちや感情をありのまま自由に表現できる「環境」があれば、子ども達は「遊び」を通して S S Tが目指す効果を、自ら学びとることができると思っています。我々支援者の役割は「環境」を整え、子ども達の成長を見守ることだと考えています。

■ SST の周知について

- ・特別なスキルがなくても、あいさつなど、ちょっとだけでも、できることがたくさんあることを周知して欲しい。
- ・SSTの技術であったり、事例等の冊子やトレーニングのプログラム例等も広く周知していただけたらと思う。

■ SST に関するその他の意見

- ・ソーシャルスキルトレーニングは、ASDを中心とする社会性能力に乏しい子どもたちの自立支援のひとつとしてとても有効だと思う。ただし、子どもの抱える課題は、何かひとつのことが原因であることはほとんどなく複数の課題が複雑にからんだ状態で目の前の子どもが生きて生活しています。ソーシャルスキルに課題があっても、愛着にも課題があればSSTは後回しになります。SSTの手法を誤ると、他者の目ばかりを気にして自己評価を下げてしまうこともあります。本人の心理状態や取りまく環境によって、優先すべき支援が変わります。障害児施設にとっていま必要なことは、あらかじめ用意されたメニューに子どもが合せるのではなく、子どもに合わせた多様な支援を見定めて実践することだと思います。
- ・SSTは支援方法の一つです。良い支援方法であるとも思っていますが、すべての子どもに合うわけではないと考えます。構造化することが良い場合もあるし、ABAの考え方が合う場合、またそれ以外が有効な支援になる時もあります。

■ 専門人材の確保・専門人材による支援について

- ・SSTの視点を持って、プログラムや支援案を作成したり、指導できる職員を増やしたいが通常業務に追われている。
- ・日々の活動の中にソーシャルスキルのトレーニングは行っているが、もっと専門性を学びたいと思う。

■ 学校との連携

- ・SSTに限らず、学校との連携不足を感じます。学校によって、あるいは担任によって施設の認識が異なる。
- ・福祉事業所との連携については、学校ごとの差が大きい。

■ 様々な関係機関との連携

- ・学校などの関係機関や他放ディとの関わりも、日々の送迎時の申送りだけでは不足しており、こちらから依頼して支援会議を設定しているが、もっと連携を深めていきたい。
- ・対児童の支援は、事業所内で完結しがちであり、他事業所との共有が薄い。支援実施の内容は、各々の事業所で特化していくのは当然と思われるが、横の共有化がない為、併用している児童に対する関わり方や、見立てがブレている場合もある様に見受けられる。少なくとも地域毎の検討会や各事業所間の意見交換の機会を増やし、地域内の支援力の底上げを図る事も必要だと思う。

■ 地域との協働

- ・教育・療育の専門性を高める施策と共に、一般児の教育・療育の場面での障害児の受入、商業施設などにおける、より一層の障害児受入を推進して欲しい。

■ マニュアル・ガイドラインの整備

- ・放課後デイサービスガイドラインは十分に理解でき、わかりやすく解説されていると思うが、障害者に関するマニュアル各種等は、対象と対処の違いが大きくあり、内部研修等に用いた際などに苦慮することが多々ある。細分化したマニュアルのご検討をお願いしたい。

■ 財政支援

- ・支援員、指導員の定員を増やすことができるような法改正や、予算確保を真剣に検討して欲しい。
- ・児童発達支援管理責任者の中にランクを付けて加算がとれるよりになるとよい。例えば、保育士や公認心理師の資格もあり、児発管の資格もあり、児発管をやっている、専門職配置加算はとれない。スペシャル児発管というか、公的資格・経験も重複してある場合児発管を配置している場合は特別に割増の加算をつけられるなどもあると、より専門性の高い児発管が増えて事業所の支援の質も上がるのではないかと思う。

■ アンケートについて

- ・アンケート調査等に関して、今後は作業時間短縮のため、紙面ではなくネットで行っていただけると助かります。

■ その他の意見

- ・放課後等デイサービスを運営するにあたり、支援のみでなく全てのことにに対して気軽に相談できる場所が欲しい。
- ・送迎に人手を取られて、ソーシャルスキルを行うスタッフや時間が足りない。たとえ子ども1人でも運転手と同乗者2人で送迎すべきというのは正論だし、そうできたら理想だとは思うが、なかなか人手を確保できず、しわ寄せが子どもの支援に行っている。